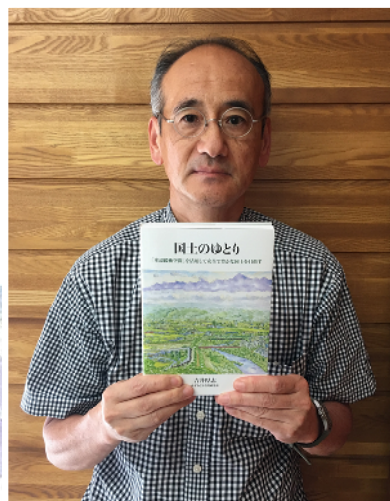


国土のゆとり

水辺緩衝空間を活用して安全で豊かな国土を目指す

主催：(公社)砂防学会北海道支部
(一社)建設コンサルタンツ協会 CPD認定プログラム

国土保全と環境保全の両方を目指すためには、「国土のゆとり」として、空間的な余裕が必要です。それがあれば、自然災害を引き起こすエネルギーを弱める工夫もできるし、環境保全の可能性も広がります。特に洪水氾濫原などでは、水辺における空間的な余裕が重要な役割を果たしていることを事例で紹介します。



「国土のゆとり」中西出版より
2020年8月15日初版第1刷発行！

日時 2020年12月4日(金)

16:00-17:30 (講演70分 質疑応答20分)

会場内の三密防止のため、当日の定員は36名とさせていただきます。

会場 北海道大学農学研究院
総合研究棟多目的室W109

参加無料
要事前申込!

講師 吉井厚志

みずみどり空間研究所主宰
元国土交通省北海道開発局、寒地土木研究所

イマイカツミ 「富良野川と十勝岳、富良野川眺望」

行政機関、民間、教育機関関係者は、2020年12月2日(水)までに下記あてメールあるいはFAXにて参加申し込みが必要です。

申し込み先：(公社)砂防学会北海道支部事務局 桂真也

E-mail: jsece-hokkaido@agr.hokudai.ac.jp FAX: 011-706-4935

○筆者履歴 吉井厚志（よしいあつし）

1957 年 2 月 20 日博多生まれ、その後東京に移り、小学校 3 年より札幌

1975 年 北海道大学 農学部林学科 砂防工学研究室 入学

1979 年 北海道開発庁 入庁（河川・砂防・海岸などの公共事業に関する仕事に従事）

1988 年 ESCAP/WMO 台風委員会事務局（在マニラ）水文専門家

1991 年 北海道開発局、土木研究所寒地土木研究所にて国土保全と環境保全の現場に従事

1995 年 北海道大学博士（農学）学位取得

2015 年～株式会社ハタナカ昭和取締役副社長、萌州建設株式会社最高顧問・最高技術責任者

2017～2019 年 北海道科学大学非常勤講師

◆書籍の紹介

吉井厚志さんは北海道大学砂防研究室をご卒業後、北海道開発局および土木研究所寒地土木研究所において、道内の様々な国土保全・環境保全の現場でご活躍してきた方である。

書籍の中には、洪水氾濫原対策（石狩川下流の捷水路、釧路川遊水地）、土砂災害対策（豊平川砂防事業、戸蔭別川床固工群）、火山噴火防災対策（十勝岳-富良野川砂防堰堤、尻無沢川流路工、有珠山-遊砂地）、海岸侵食防災対策（鵜川海岸土砂動態調査、胆振海岸人工リーフ、東日本大震災の津波対策）などなど多様な現場が紹介されており、加えて海外の事例も数多くあり、最後には胆振東部地震災害まで網羅された、まったくもって多彩な書籍となっている。

その中で一貫して述べられるのが標題の「国土のゆとり～「水辺環境空間」を活用して安全で豊かな国土を目指す」といった思想であり、本書の冒頭は「いくら激しい自然現象が発生しても、被害を蒙る人々がいないければ、自然災害は発生しない。・・・」という文章で始まる。

これまでの災害と今後の国土保全を考えるにあたり、一読必須の書籍です。

文責 砂防学会北海道支部 広報担当：井上涼子